

大腸がん精密検査と判定された方へ

大腸がんってどんな病気？

大腸がんとは、結腸がんと直腸がんのことを言いますが、どちらも腸の粘膜から発生する悪性腫瘍です。大腸がんは、粘膜の表面から発生し、進行するにつれてリンパ節や肝臓や肺など別の臓器に転移します。また、大腸がんは進行するまで、ほとんど自覚症状がありません。

大腸がんにかかる可能性は、男女とも40歳代から多くなり、男性の病気と思われがちですが、女性のがん死亡原因の第一位は、乳がんではなく大腸がんです。女性にとっても危険性が高い病気です。

早期発見が重要！！

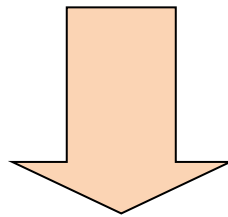
早期の大腸がんでは9割以上が完治します。そのため、早期の大腸がんを見つけるために、毎年定期的に検診を受けることが重要です。

～2次検診ってどんな検査をするの？～

大腸がん検診（便潜血検査）で精密検査と判定された方は、次のような検査を実施します。

<当院の場合>

まずは外来受診をしていただき医師の診察を受けます。



後日・・・

●大腸内視鏡検査（大腸ファイバー）



大腸内視鏡検査（大腸ファイバー）とは、胃カメラと同様に屈曲自在なファイバースコープを肛門より挿入し、直腸から盲腸まで全大腸をみる精密検査です。

ポリープに代表される隆起性病変や腫瘍がないかどうか、または、下痢や血便といった症状の原因となるような病変がないか検査します。

※検査結果によっては検査内容が異なります。

～大腸がん2次検診を筑後市立病院で受診される場合～

STEP 1

2次検診は保険診療となります。保険証、医療証、紹介状、健診結果票等を持ってご受診ください。

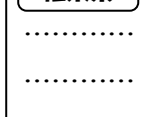
（受付時間） 8：30～11：30

混み合う可能性がありますので、早めの時間にお越しください。

第3土曜日は休診日となっております。



結果票



STEP 2

医師の指示にしたがって精密検査を受けてください。



※画像はイメージです。

（お問い合わせ） 筑後市立病院 TEL 0942-53-7511（内線530）

不明な点があれば内科外来にご相談ください。